

2022年6月27日
多摩都市モノレール株式会社

第36期（2021年度）決算概要について

多摩都市モノレール株式会社（本社：東京都立川市、社長：醍醐 勇司）では、本日開催された第36回定時株主総会において、第36期（2021年度）決算概要を報告いたしましたので、お知らせいたします。

○ 決算のポイント

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に利用者が減少した2020年度から回復傾向にあるが、コロナ禍前の2019年度の水準には回復していない。

	一日平均乗車人員	運輸収入	営業収益
2021年度	10万5千人 (18.5%)	66億20百万円 (17.7%)	68億07百万円 (17.0%)
2020年度	8万8千人 (▲38.0%)	56億25百万円 (▲34.0%)	58億19百万円 (▲33.8%)
2019年度	14万3千人	85億30百万円	87億89百万円

※（ ）は前期比

- ・コロナ禍による減収を踏まえて、輸送の安全に十分に配慮しながら、可能な限り営業費の縮減に努め（前期比 10.7%減）、2 期連続の赤字を回避

	営業利益	経常利益	当期純利益
2021 年度	3 億 20 百万円	5 億 89 百万円	4 億 83 百万円
2020 年度	▲14 億 41 百万円	▲14 億 36 百万円	▲13 億 73 百万円
2019 年度	7 億 15 百万円	6 億 45 百万円	1 億 71 百万円

【お問合せ】

多摩都市モノレール株式会社 総務部経理・経営戦略グループ

Tel.042-526-7800（受付時間 平日 9:00～17:45）

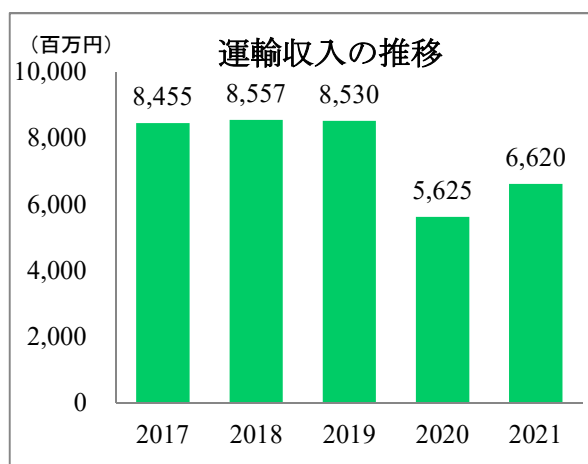
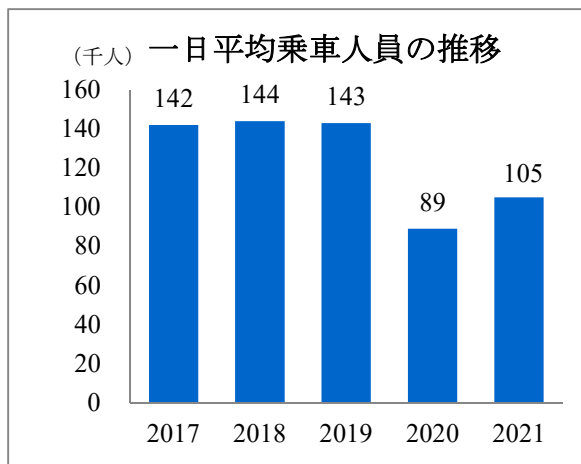
多摩都市モノレール（株）第36期（2021年度）決算概要

1 乗車人員・運輸収入・営業収益は、前期よりも増加

第36期については、年間乗車人員が延べ約3,846万7千人（前期比18.5%増）、一日平均乗車人員は約10万5千人となり、その内訳は、通勤定期が前期比3.5%減、通学定期が前期比102.6%増、定期外は前期比19.8%増となりました。このように乗車人員は全体で増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に利用者が減少した前期から回復する結果となりました。これに伴い、運輸収入は前期比17.7%増の約66億20百万円となりました。

運輸雑収については、広告事業における出稿の減少や、駅構内コンビニエンスストアの入れ換えに伴う一時的な減収の影響により、前期比3.1%減の約1億87百万円となりました。

この結果、運輸収入に運輸雑収を加えた営業収益は、前期比17.0%増の約68億07百万円となりました。



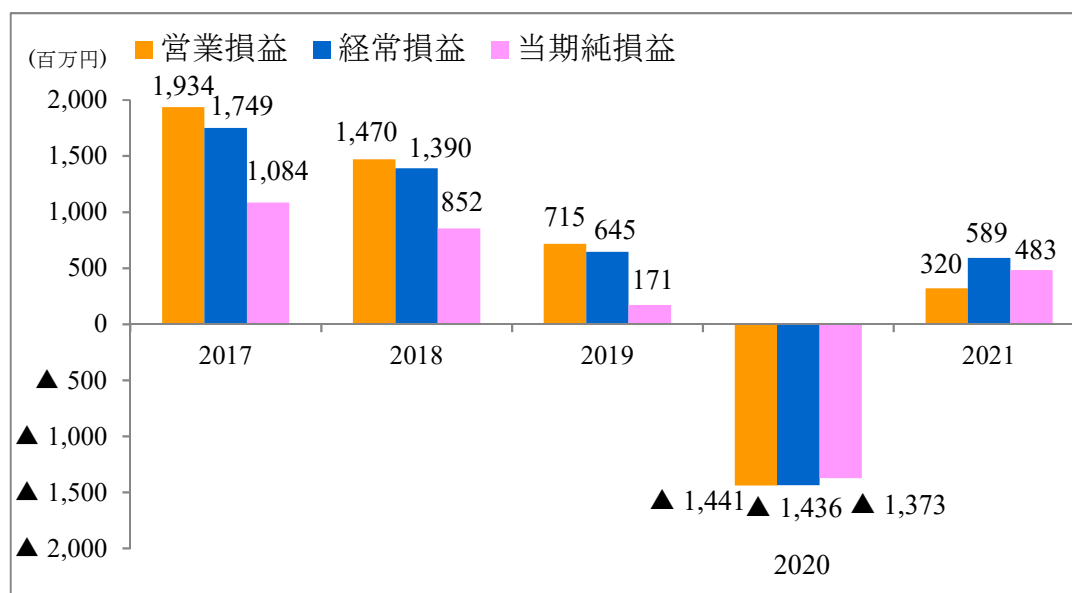
年度	一日平均乗車人員	運輸収入	営業収益
2017	14万2千人 (0.9%)	84億55百万円 (0.9%)	87億05百万円 (1.0%)
2018	14万4千人 (1.2%)	85億57百万円 (1.2%)	88億17百万円 (1.3%)
2019	14万3千人 (▲0.5%)	85億30百万円 (▲0.3%)	87億89百万円 (▲0.3%)
2020	8万8千人 (▲38.0%)	56億25百万円 (▲34.0%)	58億19百万円 (▲33.8%)
2021	10万5千人 (18.5%)	66億20百万円 (17.7%)	68億07百万円 (17.0%)

※注：() 内の数字は、対前期比となります。

2 営業費の縮減により、2期連続の赤字を回避

第36期は、乗車人員や営業収益について新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に利用者が減少した2020年度から回復する傾向にあります。コロナ禍となる前の2019年度と比較すると、依然として回復していません。

一方、コロナ禍による減収を踏まえて、輸送の安全に十分に配慮しながら、可能な限り営業費の縮減に努めた結果、営業利益は約3億20百万円となり、経常利益は約5億89百万円、当期純利益は約4億83百万円と、2期連続の赤字を回避することとなりました。



年度	営業損益	経常損益	当期純損益
2017	19億34百万円	17億49百万円	10億84百万円
2018	14億70百万円	13億90百万円	8億52百万円
2019	7億15百万円	6億45百万円	1億71百万円
2020	▲14億41百万円	▲14億36百万円	▲13億73百万円
2021	3億20百万円	5億89百万円	4億83百万円

(1) 収支の状況

	2022年3月期	2021年3月期	増減(▲)
営業収益	6,807	5,819	988
運輸収入	6,620	5,625	994
運輸雑収	187	193	▲ 6
営業費	6,487	7,260	▲ 773
運送費	4,044	4,662	▲ 617
一般管理費	326	311	14
諸税	314	261	52
減価償却費	1,801	2,025	▲ 223
営業損益	320	▲ 1,441	1,761
営業外収益	385	142	242
営業外費用	115	137	▲ 21
経常損益	589	▲ 1,436	2,026
税引前当期純損益	589	▲ 1,436	2,026
法人税、住民税及び事業税	37	4	32
法人税等調整額	69	▲ 67	136
当期純損益	483	▲ 1,373	1,857
減価償却前経常利益	2,391	588	1,802

(主要増減内訳)

○営業収益

 運輸収入 994 (新型コロナウイルス感染症に伴う行動自粛から回復傾向にあることによる増)

○営業費

 運送費 ▲ 617 (修繕費の減等)
 減価償却費 ▲ 223 (償却額・除却損の減等)

(2) 資産・負債の状況

多摩都市モノレール(株)

	2022年3月期	2021年3月期	増減(▲)
流動資産	3,734	4,796	▲ 1,061
現金・預金	2,944	2,972	▲ 27
その他	789	1,823	▲ 1,034
固定資産	58,652	59,869	▲ 1,216
有形固定資産	58,434	59,621	▲ 1,186
その他	218	248	▲ 29
資産合計	62,386	64,665	▲ 2,278

	2022年3月期	2021年3月期	増減(▲)
流動負債	6,744	6,716	28
短期借入金	2,818	3,690	▲ 872
未払金他	3,926	3,026	900
固定負債(長期借入金他)	22,437	25,191	▲ 2,754
負債合計	29,181	31,908	▲ 2,726
資本金	100	100	0
資本剰余金	25,923	25,923	0
利益剰余金	7,181	6,733	448
純資産合計	33,205	32,756	448
負債・純資産合計	62,386	64,665	▲ 2,278

(主要増減内訳)

○流動・固定資産

▲ 1,061 (未収金の減等)

○流動・固定負債

 固定負債の減 ▲ 2,754

(注)単位未満を切り捨てにしているため、合計及び増減は一致しないことがある。